



ほむる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
 ~あなたの悩み事は当社までご相談下さい~
 【今月の一冊】アドラー流 たった1分で心をひらく聴き方
 戸田久実 著 かんき出版
 ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2017年8月1日 Vol. 178
 発行元 有限会社プライム・コーポレーション
 ライフコンサルタント 渡邊敏徳
 〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
 TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

働き方改革

今、「働き方改革」に注目が集まっています。安倍首相が「今後3年間の最大のチャレンジ」と断言し、労働のあり方やその価値観、生活に変革がもたらされつつあります。これらは単に人々の生活を豊かにするためではなく、「低成長社会」や「労働力人口の減少」などの日本の抱える問題が根底にあります。

「一億総活躍プラン」には、「国民が総活躍しないと日本はやっていけないんだ」という素朴な疑問があります。しかし、私の持つイメージは、「元気で働けるうちは年金を支給しないので頑張って働いて下さい」と言われているように感じてしまいます。いくつになっても労働意欲のあることはとてもいいことです。

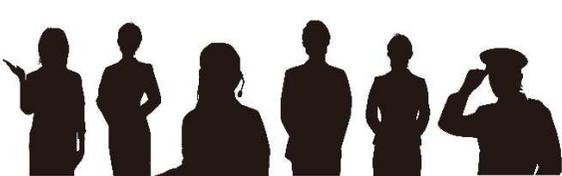
しかし、日本は「少子高齢化に伴う労働力人口の減少」という問題を抱えているから、今のうちにみんなで戦える体制を作っていくという趣旨であることはわからなくもありません。

そもそも少子高齢化は克服しなければいけない問題なのではないでしょうか？人口が減っていく状況を受け入れたうえで、どうするかという選択肢もあっていいはずだと思うのです。

日本の人口は、2065年に約8,808万人と言われていています。ヨーロッパの優等生ドイツの人口は8,063万人です。私たちは、人口やGDPの増加だけを成長の指標に置いていく考え方を基準にしていくことを前提にするのではなく、資本主義の先の“新しい経済のあり方”を考えるステージに入っていると思うのです。

かつては終身雇用や年功序列を約束してくれた会社がセーフティーネットでした。今は成果主義も導入され、年功序列ではなくて頑張れば頑張るほど給料がもらえるという建前上の仕組みになっています。しかし、若い人がスキルがなくベテランに敵わないなら量でカバーするしかないこともあります。自分の成果や成長を求めて長く働く人もいます。

終身雇用や年功序列が崩壊してしまった現在、国が「働き方改革」を目指すなら、今まで企業が代替してきたセーフティーネットの役割を国がしっかり果たして欲しいと思います。



そのことが実現できれば、自由な働き方や様々なことにチャレンジする生き方ができるのではないかと感じます。一人ひとりが自由に選ぶことができる働き方を考えていくべきですね。

リーダーに必要な3つの条件

ソフトバンクグループ創業者の孫正義さんは、リーダーに必要な条件を次のように言っています。リーダーシップを発揮しようと思えば、重要な順に次の3つだと。

一番最初に重要なのが **理念と志**。

二番目に重要なのが **ビジョン**。

そして三番目が **戦略**。



これがリーダーシップを発揮していく人、事業を興す人が持つべき重要順の3つのポイントになるそうです。

今の日本において、孫正義さんのように大いにリーダーシップを発揮し、活躍している人はたくさんいると思います。しかし、政治の世界の不祥事や大手企業の不正会計など残念な出来事が私たちの目に入ってきます。これなら未来を託せるというリーダーシップをもった人物の登場を期待するのは私だけでしょうか……。



【座右の銘にしたい名言】



もし今日が人生最後の日だとしたら、今やろうとしていることは本当に自分のやりたいことだろうか？

(スティーブ・ジョブズ/米国の実業家 アップル創業者)